

日立産廃 唐津沢湖は 洪水防ぐ 防災ダムに 産業廃棄物が洪水で押し流される 県「鮎川洪水浸水想定区域図」を公表 産廃処分場建設工事は直ちに中止に！！



洪水前の唐津沢湖



洪水翌日の唐津沢湖 23/9/9
豪雨土砂が流れ込み湖水変色、防災ダムの機能を果たした（湖面7～8m上昇）



湖の水抜き作業中 24/7



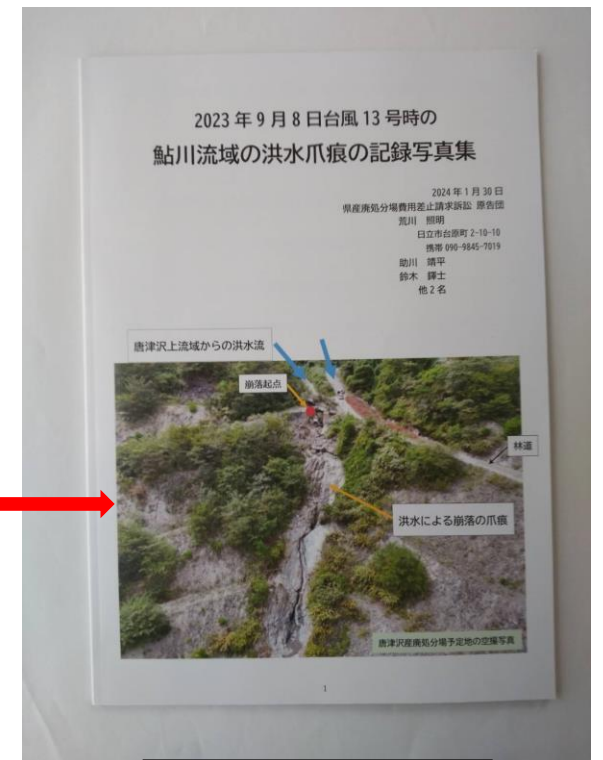
処分場工事で入口のブリ山が無くなり風景一変 25/5



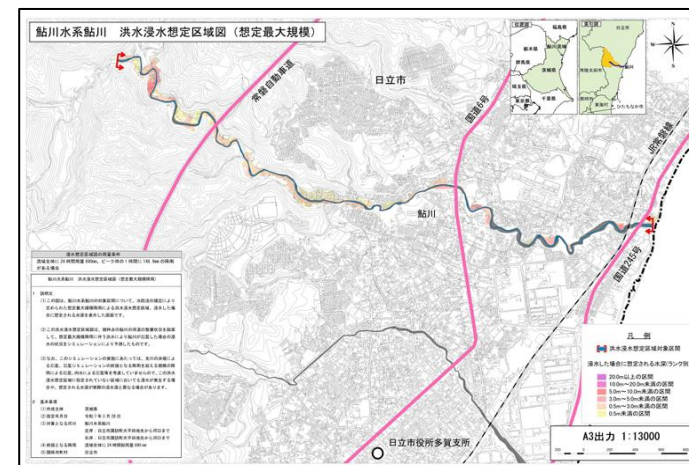
湖水抜き底部で工事中 事業団HP



豪雨時洪水の展望
廃棄物が押し流される



鮎川洪水の記録写真集



鮎川洪水浸水想定区域図 < 鮎川水系で洪水発生 >



熱海の土石流 21/7
埋立て容積8万m³中5万m³が流出。
唐津沢埋立て廃棄物は240万m³で30倍



鮎川洪水3日後の写真 23/9/11
洪水当日は歩道溢水していた

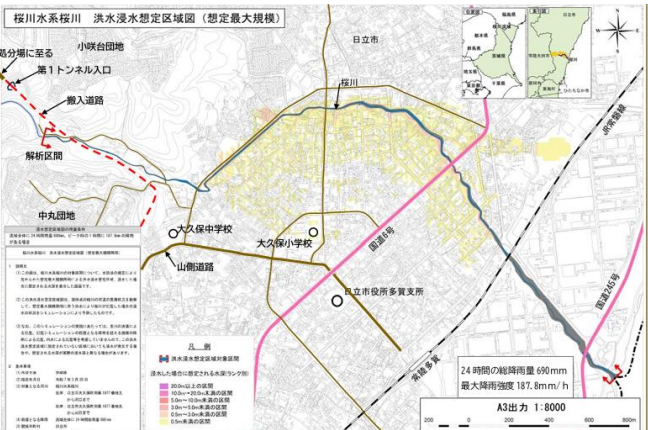
県は3月、2級河川の「鮎川洪水浸水想定区域図」（水穴から上流は除き）を公表しました。唐津沢は一昨年9月台風で「洪水浸水区域」が明らかとなり、「立地上の制約区域」になるため直ちに処分場建設工事を中止し、撤退すべきです。

処分場は、唐津沢流域全体の降雨による洪水に対し無防備であり、洪水が廃棄物を押し流す事態となります。鮎川から海までの環境汚染を防ぐ為にも、唐津沢湖は防災ダムとしての役割があります。

新設道路(山側道路～処分場予定地間 4kmに橋梁・トンネル有)は
▽ 自然破壊、山林の保水力低下で桜川下流市街地に 洪水拡大
▽ 産廃ダンプによる騒音・振動・粉じん・臭気が 住宅地を直撃
▽ 「新設道路ありき」の計画で 県費 200 億円は膨大な違法出費

本産廃処分場建設は「日立市諏訪町ありき」「新設道路ありき」で仕組まれてきました。

産廃処分場の外部搬入道路要件は、主要道路（2 車線幅員 5.5m 以上）から 1 k m 以内の区域内としており、予定地日立市諏訪町の主要道路は「県道 37 号日立常陸太田線」で国道 6 号～国道 349 号（常陸太田市）迄の 12 k m です。この県道 37 号は 7 割が 1 車線（幅員 5.5m 未満・大型車通行禁止道路有り）なので、この時点で処分場候補地から除外されるべきでした。しかし、整備あり方検討委員会は、自ら決めた基準を反故にして「主要道路幅員は参考値・評価対象外」（5 回検討委員会）として日立市諏訪町を選定しました。この経過は、日立産廃裁判で証言し、福地元県会議員の委員会発言記録「副議長時代にこの図面を令和元年に見ている 公表されない時期に・・・」を裁判所に提出しました。危険な新設道路工事の中止と 200 億円もの膨大違法出費を止めさせましょう。



県「桜川洪水浸水想定区域図」公表
新設道路で保水力が低下、さらに市街地広範囲に洪水発生

日立産廃裁判 本年経緯と今後の期日
1 月現地進行協議（処分場・諏訪梅林・新設道路工事）、3 月・5 月原告（鈴木・荒川）尋問
最終準備書面提出後、9 月 18 日弁論終結（原告・弁護士 意見陳述）、判決に向かいます。



大久保林道「水源かん養保安林」看板
「森林は国の宝です 後世に引き継ぎましょう」と記
茨城県森林管理署



洪水直後の桜川・大久保林道 23/9



大久保地域説明会資料



大久保林道工事中

カンパのご協力をお願い申し上げます。
振込口座
常陽銀行 多賀支店（店番 017）
普通預金 県産廃処分場反対連絡会
口座番号 1995334

2025年6月
県産業廃棄物最終処分場建設に反対する連絡会
共同代表 荒川照明 090-9845-7019
日立市台原町2-10-10
共同代表 数藤まち子 日立市諏訪町5-24-7